

第28回 がん検診のあり方に関する検討会	資料 2-3
令和元年5月31日	

がん検診受診率向上に向けた 今後の取組

厚生労働省健康局がん・疾病対策課

がん検診受診率向上に向けた今後の取組の方向性について

【がん検診受診率向上に向けた国の取組】

- 「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」において、がん検診受診率向上に関する地方自治体の取組を支援。
- 受診率向上施策ハンドブック(第2版)を公表し、効率的・効果的ながん検診の受診勧奨・再勧奨を推進。

【がん検診受診率向上に向けた今後の取組の方向性】

- がん検診受診率向上に向けたこれまでの取組を踏まえ、第3期がん対策推進基本計画の今後取り組むべき施策として記されている、受診率向上のための対象者の明確化や、効果的な受診率向上のための方策等について、どのように考えるか。
- 例えば、
 - ・ がん検診未受診の理由として挙げられている各項目に対する方策にはどのようなものがあるか
 - ・ エビデンスが確立している介入方法(※)の活用方法等について、今後どのように進めるとよいか。
- また、精検受診率向上については、適切な精度管理(定義に基づく精検受診、未受診、未把握の区別)に基づく取組と、精検未受診者を正確に特定し、精検の受診勧奨を行うことが必要である。このうち、精検未受診者への効果的な受診勧奨方法については、どのように考えるか。

※ なお、職域のがん検診受診率向上については、今後、職域の実態に即した受診率向上対策が必要ではないか。